

日本呼吸器外科学会

第26回—第5回理事会 ニュース

日時 2009年5月13日(水) 13:30~16:00

場所 リーガロイヤルホテル小倉

出席者 (会長) 安元公正

(副会長) 近藤 丘

(理事) 大貫恭正 小川純一 金子公一 小泉 潔

児玉 憲 呉屋朝幸 白日高歩 千原幸司

馬場雅行 藤井義敬 吉村雅裕

(監事) 川原克信 和田洋巳

(前会長) 蘇原泰則

(幹事) 花桐武志

1. 第26回-第4回理事会議事録及び第26回-第4回理事会ニュースが確認された。
2. 議事録署名人に小川純一、金子公一理事が指名された。
3. 庶務報告(会員数、物故者数) (安元)

会員数(名誉会員、特別会員、正会員、購読会員、賛助会員)物故者及び名誉、特別会員の報告があった。物故者4名逝去に伴い、定期評議員会及び定時総会において黙祷を捧げることについて、報告があった。

議 題 (第26回日本呼吸器外科学会定期評議員会・総会資料)

1. 理事長制導入に伴う定款変更について(定款検討委員会:近藤)

理事長制導入に伴う、現行の定款変更について、特に第4章の各条各項各号の改正の説明があり、続いて、現行の施行細則変更について第2章及び第3章の各条各項各号の改正の説明があり、承認され、第26回定期評議員会及び第6回定時総会に提案することが了承された。

2. 専門医制度に係る施設認定料の改定について(総合将来計画委員会:近藤)

施設認定料を値上げすることにより呼吸器外科専門医更新申請料の負担を抑えられるのではと基幹施設関連施設にアンケートをした結果の報告があり、具体的な試算は引き続き検討することが了承され、第26回定期評議員会に提案することが了承された。

報 告 (第26回日本呼吸器外科学会定期評議員会・総会資料)

1. 各種委員会報告

(1) 総合教育委員会(小川・金子)

(1-1) 教育制度部会(小川)

- 1) 呼吸器外科医の心臓血管外科研修について

・呼吸器外科医の心臓血管外科研修については7名希望者があり、2名は終了したとの報告があった。

・終了者には呼吸器外科専門医試験受験時には心臓血管関係の問題を全問正答とする。

・研修評価報告書は研修者の了承後、指導者へ報告する。

- 2) 心臓血管外科医ならびに食道外科医の呼吸器外科研修について

研修受入可否のアンケートを呼吸器外科基幹施設(230施設)に送付し152施設より回答を得た。

・3ヶ月間の研修可能施設は128施設

・有給での研修可能施設は50施設

・ホームページ掲載許可施設は100施設より承諾を得ている。

・最終結果は日本胸部外科学会に報告する。

- 3) 総合医療安全管理委員会からの提案で胸腔鏡下肺葉切除術の交換研修についてのアンケート

を基幹施設、関連施設に送付し222施設より回答を得た。

- ・他施設での研修を希望するスタッフがいる施設は53施設
- ・有給での出向あるいは受入が可能な施設は80施設
- ・ホームページ掲載許可施設は46施設より承諾を得ている。

4) 今後の委員会活動

- ・日本胸部外科学会との連携を密にして、同学会 Post graduate コースと日本呼吸器外科学会の呼吸器外科セミナーで行う教育セッションの住み分けを明確にする。
- ・がん治療認定医機構適応申請は見合わせる。

(1-2) 手術教育部会 (金子)

- 1) 呼吸器外科胸腔鏡セミナー (アニマルラボ) の参加資格について2009年度から本会が共催もしくは公認した胸腔鏡手術セミナー (ドライラボ) を既に受講していることとする。
- 2) 胸腔鏡手術セミナー (ドライラボ) への参加は有料とし各地区の実情により決定するよう開催要項の一部改正を行った。
- 3) 地域インストラクター71名をホームページへ掲載した。任期は2008年5月から2010年総会終了の日までとし、更新は可能とする。また、胸腔鏡手術地域セミナーの地域インストラクター推薦基準が示された。
- 4) 胸腔鏡手術地域セミナー共通テキストが近日中に完成し、リニューアル後のホームページに掲載される予定である。
- 5) 各地域独自で開催される手術手技講習会の学会承認手続きに関する事項についての承認に関するルールが示された。
- 6) 胸腔鏡手術手技認定について、呼吸器外科学会における胸腔鏡手術手技認定の具体的な事項を定めた上で、内視鏡外科学会と協議して技術認定を行う方向で検討していくと報告があった。

(2) 総合専門医制度委員会 (近藤)

1) 2009年呼吸器外科専門医について

- ①新規申請者63名の書類審査の結果、61名が合格となり、資格試験に60名が受検し、呼吸器外科専門医合同委員会の審査結果に基づき45名が合格となった。
- ②更新申請該当者877名のうち申請者569名であり、呼吸器外科専門医合同委員会の書類審査結果に基づき562名が合格となった。
- ③更新猶予申請者34名のうち呼吸器外科専門医合同委員会の審査結果に基づき29名が猶予された。

2) 外科関連専門医制度委員会合意事項

- ①サブスペシャリティ専門医の更新条件に外科専門医または日本外科学会認定医であることを必須条件とする。
- ②サブスペシャリティ専門医の更新条件に2012年から日本外科学会定期学術集會に1回以上出席していることを条件に加える。
- ③正当な理由によって更新が行えない場合は、「原則として」2年までの猶予を認め、猶予期間中は証明を発行する。
- ④専門医でなくなった者の処遇については、一定回数以上更新した専門医の名称を「名誉専門医」と統一する方向である。
- ⑤呼吸器外科専門医の認定日を2012年までに4月1日から1月1日に変更する。

3) 呼吸器専門医取得に関する事項

- ・現状では呼吸器外科医が取得することは事実上不可能であり、今後ある一定条件を満たしたうえで取得が可能となるように呼吸器学会専門医制度委員会と話し合いを行うこととなった。

4) 呼吸器外科専門医の更新申請をされなかった方270名の調査について

- ・172名からの回答についてその内容が報告された。今後細かな分析を実施し、制度の改善に努める材料としていくことが報告され承認された。

5) 2009年基幹施設は199施設の申請があり、全施設が合格となった。また、関連施設は349施設の申請があり、342施設が合格となり、不合格の7施設については症例不足であ

った。

(2-2) 専門医制度・指導医制度部会 (近藤)

- ・ 終身呼吸器外科指導医の申請者 500 名に対し全員認定書を交付した。
- ・ 日本専門医制評価・認定機構による専門医制度評価に関する厚生労働省への要望に対して他の学会と連名で同機構社員総会による審議を要する案件であるとの意見書を提出した。

(3) 総合診療対策委員会 (呉屋・大貫・小泉)

(3-1) 診療問題検討部会 (呉屋)

次年度 (第 27 回) 総会において委員会主催のワークショップを計画する。

(3-2) 保険制度検討部会 (大貫)

ホームページのリニューアルに伴い保険診療に関する改訂要望事項について広く会員の意見を集約する。

(3-3) 外保連関連部会 (小泉)

手術・処理・連絡部会として活動、また、医療材料・医療機器ワーキンググループ、手術コーディングワーキンググループが設置され各種の作業を行われた。

(4) 総合医療安全管理委員会 (小泉)

(4-1) 医療安全対策部会 (小泉・千原)

- 1) 診療関連死対応モデル事業の一環として、日本外科学会による医療安全委員会が組織され、「医療安全調査委員会設置法案 (仮称) 大綱案」について日本呼吸器外科学会としての意見書を提出した。
- 2) 日本外科学会医療安全管理推進体制の地域区分の委員に日本呼吸器外科学会評議員、指導医有資格者を選任した。
- 3) 「医療安全調査委員会 (仮称) への届け出範囲」「医療安全調査委員会 (仮称) から捜査機関への通知範囲」に関するアンケート調査依頼が日本医学会会長からあり、日本呼吸器外科学会役員、会員からの意見を集約し、このアンケート調査の回答を提出する予定。

(4-2) 医療紛争検討部会 (小泉)

第 26 回総会の特別企画として「呼吸器外科における医療安全の構築」の安全教育セミナーを開催する。

(4-3) 医療倫理部会 (千原)

- 1) 学会倫理綱領をリニューアルのホームページに掲載する。
- 2) 医療倫理に関する問題として「同意書」の現状、問題点を安全教育セミナーで提起する。
- 3) 利益相反・情報開示ガイドラインの骨子として、目的、対象者、対象となる事項、手順が示された。

(5) 学術委員会 (藤井)

- 1) 第 26 回総会時に開催される呼吸器外科セミナーの報告があった。
- 2) ビデオ・シネライブラリー追加と削除についての報告があった。
- 3) 学会賞について、若手会員の応募を奨励するとの報告があった。
- 4) 第 27 回総会時から学術委員会担当プログラムの提案があり、継続テーマとして「リスクのある肺癌患者の外科治療」およびパネルディスカッションとして「肺癌術後間質性肺炎増悪—現況、増悪因子とその対策」を予定しアンケートをすとの報告があった。

(5-1) 学術調査部会 (馬場)

- 1) 日本胸部外科学会と日本呼吸器外科学会と合同調査票に新 TNM 分類に対応できるようにしたとの報告があった。
- 2) 肺癌登録合同委員会の次回調査 2004 年切除症例を 2010 年に登録の予定でワーキンググループを立ち上げ部員 2 名を推薦した。

(5-2) ガイドライン部会 (吉村)

「呼吸器外科における周術期ガイドライン」について、肺癌、重症筋無力症は作業中であり、重症筋無力症は日本胸腺研究会と協同作成中であるとの報告があった。

(5-3) 呼吸器外科用語部会 (藤井)

日本医学会医学用語集、日本外科学会用語集と日本呼吸器学会用語集、日本医学放射線学会用語集および日本放射線腫瘍学会用語集、日本外傷学会用語集、日本内視鏡外科学会用語集から呼吸器外科領域に関連する用語を11000語を仮採用し、編集委員長、学術委員会委員による修正を得た上で理事会に諮る予定との報告があった。

(6) 編集委員会 (児玉)

- ・2008年雑誌発行状況、論文採択状況等の報告があった。
- ・日本呼吸器外科学会優秀論文賞について、受賞資格、毎年原著論文の中から選考との報告があり大筋は承認されたが、呼吸器外科学会賞とも関連するので学術委員会を交えて引き続き検討することとなった。

(7) 移植委員会 (白日)

- ・2008年の生体、脳死片肺、脳死両肺移植実施の状況報告があった。

(8) 渉外・広報委員会 (千原)

(8-1) 渉外部会

最高裁判所医事関係訴訟委員会より日本医学会分科会に依頼された鑑定人候補者推薦の態勢づくりの要望があり、評議員に態勢づくりのアンケートを行い、地区ごとに鑑定人候補者のリストを作り、依頼があれば学会としての対応で3名程度推薦予定であると報告があった。

(8-2) 広報部会

ホームページのリニューアルについて、特に会員専用ページを作り、会員照会、変更・退会、掲示板などの運用が提案され了承された。

(9) 総務・財務委員会 (吉村)

①総務関係

常勤事務職員の勤務状況について、2008年度は専門医の第1回目更新及び修練施設の更新で例年よりも多少事務量が増加した。

②特定非営利活動法人日本呼吸器外科学会(2008. 4. 1から2009. 3. 31)の特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書に基づき収入: 148, 043, 586円、支出: 145, 448, 290円、次期繰越金: 61, 542, 821円の収支について報告があった。川原監事より適正に処理されている旨監査結果の報告があり承認された。

③平成21年度(2009. 4. 1から2010. 3. 31)の「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書(案)について報告があり、了承された。

(10) 規則改訂委員会 (金子)

規則改訂委員会で検討した推薦評議員の必要性、選任方法、基準の報告があり、現行の評議員資格審査基準は改正せず、何らかの理由で評議員資格がないが理事の推薦により理事会で認めた会員を推薦評議員にすることが了承された。

今後、評議員の資格を見直しすることについて提案されたが、専門医制度と関係するので引き続き検討することとなった。

(11) 選挙管理委員会 (馬場)

次期理事選挙および次期監事選挙について報告があった。

(12) 評議員資格審査委員会 (大貫)

新規評議員の申請が60名あり書類審査の結果、58名合格した。更新評議員の申請が69名あり書類審査の結果全員合格した。推薦評議員2名の報告があった。

(13) 国際委員会 (呉屋)

国際委員会が発足し委員構成、活動目標等の報告があった。

2. 名誉会員・特別会員推戴の確認 (安元)

第26回評議員会および第6回定時総会(第26回学術集会)で名誉会員2名、特別会員4名を推戴することが了承された。

3. 次期会長・副会長の確認 (安元)

第27回会長に近藤丘副会長が就任し、第27回副会長に川原克信監事が就任することが確認

された。

4. その他

(1) 研究の現場において研究を進める上で支障になっている事項について (安元)

日本学術会議会長より「研究の現場において研究を進める上で支障になっている事項について」照会があり、研究に支障となっている事項があれば報告するよう説明があった。

(2) 肺癌登録合同委員会決算について (肺癌登録合同委員会：藤井)

肺癌登録合同委員会の平成20年の収支報告、貸借対照表等と平成21年の予算案について説明があり、了承された。なお、次回から事業報告をするよう意見があった。

(3) 白日理事より「肺がんの外科療法の社会経済評価に関する研究協力」の申し出があり、研究計画が明らかになり次第、学会としてもぜひ協力していただきたい旨の発言があった。